



つながるカレッジねりま みどり分野

コミュニティ・ガーデナーコース 講座だより

第4回「自然と仲良くするガーデニングと ガーデンのお手入れ」

日 時：令和4年7月21日（木） 9：30～12：30

会 場：四季の香ローズガーデン

今回の講座の流れ

今回の講座では、コミュニティ・ガーデンのお手入れ方法について勉強しました。グループワークでは、班ごとに作業日誌を作成し、作業計画を立てました。実習では、実習地花壇のお手入れ、花名札の作成を行い、花壇に差し込みました。後半の講義では、生物多様性とコミュニティガーデンの関連性や夏場に花壇活動を行う上での対策を学びました。

各プログラムの様子



「ガーデンのお手入れ」の様子



実習の様子



花名札の設置



「夏の安全管理」の様子

ガーデンのお手入れ

「ガーデンのお手入れ」では、植物が健康に生育するためのお手入れの方法を学びました。具体的には、①茶色いものの除去②花ガラつまみ③切り戻し④枝透かしといった方法を植物の生長の度合いや状況によって使い分ける必要があることを学びました。

作業計画

グループごとに話し合い、役割分担・活動内容・使用道具など、実習地花壇をお手入れする際の計画を立てました。

実習（ガーデンのお手入れ・ 花名札づくり）

「花名札づくり」では、フラワーベルとマスキングテープを用いて、班ごとに、花名札を作成し、実習地花壇に設置しました。

「ガーデンのお手入れ」では、花の不要な部分を取り除きました。お手入れ後は、花壇がすっきりとした印象になりました。

自然と仲良くするガーデニング・ 夏の安全管理

「自然と仲良くするガーデニング」では、主に生物多様性について学びました。

「夏の安全管理」では、夏の花壇活動に潜む危険と、その対処法について学びました。特に暑い季節には、熱中症に気をつけたいですね。

コミュニティガーデンについて

コミュニティガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所も大きさも形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティガーデンです。

今回の キーワード

「植物も人も夏越しに備えて」

(NPO birth 矢口)

日本の夏は、高温多湿な気候です。熱帯地方原産の植物にとっては過ごしやすいですが、それ以外の植物には厳しい環境です。蒸れや長雨が苦手という植物は多く、乾燥した涼しい気候を好む植物は、梅雨時から真夏にかけて枯れてしまうことがあります。更に、直射日光が苦手という植物もあります。そのため、植物の性質に応じて場所やお手入れに注意しないと、夏を上手く乗り切れません。人も、夏越しの準備は大切です。酷暑が珍しくなくなった近年では、夏場の活動中の熱中症対策は欠かせません。植物も生きものです。心地よいと感じる環境は、人と共通します。「風通しを良くすること」「直射日光を避けること」「適切な時に水分を取ること」など、自分と照らし合わせてみると、分かりやすいかもしれません。

今月の花壇団体紹介

団体名：シダとさくらの会



活動場所

- ①シダ公園（桜台 5-22-19）
- ②豊玉さくら公園
（豊玉中 3-18-1）
- ③学田公園（豊玉南 3-32-27）

活動日時：毎週火・水・木
交互に活動
9:30～11:00（冬は10:00より）

夏のはじめと秋の終わりに大幅な植え替えを行います。男女ほぼ半数で、お互いに意見を出し合いながら花のレイアウトを決めています。一緒に花壇活動を楽しみませんか。